

経済学研究科附属経済研究所 サブ・クラスター研究計画書

平成 27 年 3 月 16 日

経済学研究科附属経済研究所長 様

[申請者]

所属 (専攻)

補職名 准教授

氏名 茨木 智

平成 27 年度より研究所サブ・クラスター研究を申請したく、研究計画書を提出します。

1. 研究課題名	学習管理への ICT の活用とその効果の計量に関する分析の基盤づくり
2. 研究期間 (5カ年度以内)	平成 27 年 4 月 ~ 平成 29 年 3 月
3. 共同研究組織 研究代表者 (申請者) 共同研究者 (所員)、	(氏名・所属クラスター・補職名) 茨木 智・経営学系クラスター・准教授 河合 勝彦・経営学系クラスター・教授
4. 現在までの準備状況 (研究実績など上記の研究課題と関連したもの)	ICT 教育の実績 【社会人向け】過去数年にわたり社会人向け IT ビジネス講座を行ってきた。 【高校生向け】過去 2 年間 IT 講座を名古屋市立高校や商業高校で行ってきた。 【大学生向け】ICT 技術に基づいた講義を実施してきた。ゼミ活動の中で、企業と共創活動をする際のプラットフォームとして ICT 技術を応用した。 以上のような活動することが可能な Web 上での学習の管理システム (WordPress, Moodle, OpenPNE 等) を構築し、教育における ICT の活用の有用性を調査中である。

5. 研究目的

ラーニングマネジメント（学習管理）、およびオープン・ビッグデータの運用に、コンテンツ管理システムを利用し、データ分析のための基盤づくりを行う。

__コンテンツ管理システムとは、Web上でテキストや画像情報などを一元的に管理しながら、Webサイトを作成してくれるシステムのこと。編集もWeb上ですべて行うことができ、Webプログラムの知識が乏しくてもサイトを構築できる。

6. 研究計画・研究方法

__上記の目的達成のために、実際にICT教育を通じてデータを収集し、教育効果を計測するための実証分析を行う。

__コンテンツ管理システムとして全世界でよく用いられているWordPressを活用して、学習管理の効率性を見る。

【河合担当】

__コンテンツ管理システムの運用デザインの策定

最近のラーニングマネジメント（学習管理）の動向調査と、本研究におけるシステム運用デザインの策定。

__オープン・ビッグデータ運用基盤確立のための調査

世界最大のオープンデータサイトDATA.GOV(WordPressにより運用)等の調査、および同様なオープンソースサイトを参考にした、プロトタイプの構築。さらに、ビッグデータ収集のためのサイト運用ノウハウの調査。

__アクティブラーニングを実現するスマホとコンテンツ管理システムの連携

学生主体の学びの場を実現するアクティブラーニングの実践を目的とするスマホとコンテンツ管理システムの連携についての調査。および、実験環境としての、そのプロトタイプの構築。さらに、学習効果数量化のための、アンケート収集に活用。

【茨木担当】

__コンテンツ管理システムの運用ルールの考察

河合先生担当分と同様に、新しいICTを導入事例を調査し、教える側、教わる側の学びの質の改善を目指して、本研究に適した運用ルールを考える。

__ICT教育の効果の計量

通常の講義、ゼミ、外部向けのセミナー等に最新のICT技術を導入した教育を行うことで、そうでない場合との教育効果の比較を考える。

__高大連携による教育の質の向上

ICT教育の効果測定と同時に、大学教員が高校へ、またその逆に高校教員が大学へ出張講義をすることで、教育の質の向上が図れるのか。また相互に講義を交換することで、講義を受ける高校生や大学生の学びの質の向上が図れるのかについて、アンケート調査などをもとに教育効果を測定する。